



発行：日本共産党橋本市委員会
住所：橋本市御幸辻167-1
電話：32-9243

白い花

私は白い小さい花が好きです。例えばユキヤナギ、ハコベ、カスミソウなど、ユキノシタの花なんかも趣きがありますネ。我が家には一寸変わった白い花があります。春は白いタンポポ、シロヤマブキ、夏には白いツククシ、アカバナユウゲショウ、ツクミソウが咲きます。今、ツククサがよく咲いています。普通の青紫のツククサより、茎が細く緑色がうすく弱々しげですがなかなかのしたたかさで増えて茂っています。御覧になりたい方は昼間見に来て下さい。お気に召せばポット植えを差し上げます。夕方にはやや大きめの白いツクミソウが咲き、夜更けにはピンクに変わり、朝しぼんでしまいます。かわいいのにゆっくり見ている暇がありません。空地や川原でよく見かける黄色いのはオオマツヨイ、マツヨイグサです。興味のある方は夕方6時頃お越しください。もうすぐ白いギボウシの花が咲きます。

御幸辻 浦本映子
(TEL 32-2585)

「防衛大綱」中間報告の改憲なし崩しの危険な内容

泉 敏孝
(はしもと9条の会)

防衛省は参院選が終わるのを待ちかねたように投票日の5日後の7月26日、日本の軍事政策や軍事力の規模などを定める新「防衛計画の大綱」に関する中間報告を発表しました。

中間報告は当初6月を目途にまとめて公表の予定でしたが憲法9条改定反対をはじめとする国民多数の世論の批判とそれが参院選に与える影響を勘案し、安倍自公政権が選挙後に公表するという姑息な策を弄しました。

この中間報告は、民主党政権が2010年に策定した「防衛計画の大綱」を安倍自公政権が今年1月にその見直しを決定。年末までに大綱を策定するため防衛省が検討作業に入り、その中間の報告ということになります。

ところでこの中間報告は、自民党の憲法草案に明記されている「国防軍」を先取りし、平和憲法の理念をなし崩しに捨て去る重大な内容を含んでいます。

中間報告は北朝鮮を念頭に「弾道ミサイル攻撃への総合的な対応能力を充実させる必要がある」と強調し、この記述について防衛省は「打撃力も検討の対象に入っている」と説明し、戦闘機やミサイルなどで敵の発射基地をたたく「敵基地攻撃能力」の保有を検討するという極めて危険な姿勢を示しています。

敵基地攻撃能力の保有は、歴代政府が日本国憲法の平和原則の下で建前としてきた「専守防衛」を踏み外し、日本の軍事政策の重大な転換となります。安倍首相は、日本が購入を続けているF35戦闘機を敵基地攻撃に活用すると平和憲法を持つ一国の首相が公言していることも重大です。

中間報告はさらに尖閣諸島を念頭に「島しょ防衛」を口実に自衛隊の「海兵隊的機能」の整備を明記。具体的には海から敵地にも上陸侵攻できる米海兵隊ばりの“殴り込み”部隊化を打ち出しています。中間報告はこのほか、自衛隊の海外派兵拡大のため一般法(恒久法)検討の必要性や治安維持や警護任務など、武器使用を伴う活動に将来参加するための態勢の検討も明記しています。

その他、武器禁輸原則(武器輸出3原則)もいっそう緩和する方向を最後にきっちり明記しています。

こうした日本の防衛動向に周辺国の反発も必至で参院選での安倍自公政権の大勝に警戒心も強まっています。軍事強化の口実となっている北朝鮮の核・ミサイル問題や、中国との領有権をめぐる問題は、対話による解決を模索するというのが関係各国の本来の共通した立場です。中間報告の危険な内容を多くの国民に知らせ、改憲反対の世論と連動した運動がいよいよ強く求められていると言えるでしょう。

無料法律相談

日時 9月6日(金) 午後3時~8時
場所 橋本市民会館2F 予約が必要です。
富岡清彦 33-0796・阪本久代 36-1493
古倉伸二 32-6406